



本校では、第一学年の総合的な学習の時間に「旭川に住むわたし」の一環として、毎年、市内買物公園周辺でブロンズ像清掃を行っています。この行事は、中央大学の前身である常盤中学校時代から伝統的に続けられており、「ふるさと旭川」のよさを見直すとともに、社会の一員として積極的に貢献する態度を養うなど、子どもたちの大好きな成長につながっています。（旭川市立中央中学校）

おもな内容

	ページ
隨 想	1
研修講座寸描	2
研究室だより	3
研究協力校の紹介	4
教育講演会の紹介	5
受講後調査の結果	6
心に残る授業その85	7
人事短信 (研修センター所員紹介) ...	8

隨想 平和への願い

平和への願い

上川教育研修センター

所長伊東義晃



この原稿を書いている五月上旬、旭川市では桜が満開となりました。職場近くの常磐公園も淡い桃色に染まり、千鳥ヶ池では、ボートを楽しむ人々が、その可憐な美しさに酔いしれています。そんな様子を見てつくづく思うことは、平和な日常を当たり前に享受できることへの感謝の気持ちです。そのようなことを思い、ネットで『桜』『平和』というキーワードを入力したところ、あるブログに目が留まりました。世界中の人々の思いや願いを代弁している内容であると感じたからです。その一部を掲載させていただきます。

クライナが舞台となつた「ひまわり」です。戦争で引き裂かれた男女の悲しみを描いた映画史に残る名作であり、観たことがある方も多いのではないか。私もその一人です。

めつけられる鮮烈なシーン（
ウクライナの国旗を彩る澄み切った空
の『青色』、そして、太陽に向かつて輝
きを放つひまわり畑の『黄色』。そんな
平和なウクライナの日常が、一刻も早く
訪れるることを切に願いつつ、改めて、名
作『ひまわり』に目を向けてみたいと思
います。

◇ 戦争のない平和な世界は、SFの中だけの架空の世界なのか
◇ 何の罪もない一般の市民が傷つき銃弾が飛び交う戦場では、故郷に帰れば善良な市民でしかない無名の兵隊士が殺し合いをする。
◇ 戰争被害を受けた人たちのために自分との出来ることをし、争いのない平和な世界になることを祈り、戦争反対を大にして叫びたいと思うの。
—— 河津桜と平和

ウクライナの惨状に、世界中の人々が心を痛めています。こうした中「戦争とは何か」を伝える映画として再び注目され、日本各地で再上映の輪が広がっています。一九七〇年公開のウ

4月1日	新任所員着任
4月13日	研修講座講師委嘱状交付式 講座内容研究協議会
4月28日	ICT実技研修講師打合せ
5月13日	講座受講申込第一次締切り
6月1日	ICT【表計算入門】
6月3日	ICT【校務のための表計算】 【読書活動】
6月6日	【学校経営Ⅰ】
6月9日	【学校経営Ⅱ】
6月10日	ICT【校務でのタブレットPC活用】
6月14日	【特別支援教育①】
6月16日	【学級経営と教育相談】
6月17日	ICT【校務のための表計算／クラウド活用】 ※※ 每週火曜日 定期研究室会議 随时 研修講座講師打合せ会議
7月1日	センターだより第141号発行



(東神楽町立東聖小学校)

本校では、コロナ禍の折、学校や家庭で日常的な体力向上に取り組むため、二年前の臨時休業中の配信サービスでモラフティーズの配信を通じて、児童や保護者で親しみをもつっています。毎年少しづつバリューアップさせてきており、現在パートⅢまで考案されています。

各学年、体育の時間に準備運動として取り組んでおり、練習の成果を運動会代替行事「Tスボリツの日」で保護者に披露しています。



研修講座寸描

研修講座内容研究協議会

四月十三日、二十八講座の講師五十四名に御参加いただき、今年度の研修講座の講師委嘱状交付式及び講座内容研究協議会を開催しました。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、今年度は、オンラインと集合のハイブリット型での開催となりました。

講師委嘱状交付式では、講師を代表して石前聖香講師（旭川市立日章小学校長）が上川教育研修センター伊東義晃所長から、講師委嘱状を受け取りました。

その後の講座内容研究協議会では、Zoomのブレイクアウトルームを活用して分科会を行いました。教職員等の資質・能力の総合的な向上を目指し、各講座の講師と運営者が意見を出し合い、講座の内容や日程等について話し合いました。

当センターでは、昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの蔓延状況を踏まえながら、感染拡大防止の対策を十分に講じて講座を開催しています。受講者のニーズに応える講座内容となるよう協議してまいりますので、皆様の受講をお待ちしております。

ホットな夏、ホットな研修を！

夏季休業中の研修講座申込みを隨時受け付けております。クーラーの効いた当センター会場で研修を深めませんか？

受講を希望される場合は各学校等に配付されております「研修講座開催要項」の申込書をお使いいただき、研修センターのFAX（24-2512）にお申込みください。

開催期日	研修講座名	会 場	備 考
7月26日（火）	学校力向上対策	研修センター	
7月27日（水）	幼保小連携教育	研修センター	
7月28日（木）	道徳科指導①	研修センター	2日目 9月30日（金）
7月28日（木）	校務でのタブレットPC活用②	研修センター	ICT実技研修
7月28日（木）	授業のためのプログラミング入門①	ICTパーク	ICT実技研修
7月29日（金）	国語科指導①	研修センター	2日目 8月31日（水）
7月29日（金）	表計算入門②	研修センター	ICT実技研修
8月2日（火）	学校事務実務	研修センター	
8月2日（火）	タブレットPC入門①	研修センター	ICT実技研修
8月2日（火）	授業でのタブレットPC活用①	研修センター	ICT実技研修
8月3日（水）	算数・数学科指導①	研修センター	2日目 9月7日（水）
8月4日（木）	外国語（英語）指導①	研修センター	2日目 10月5日（水）
8月5日（金）	社会科指導①	研修センター	2日目 10月13日（木）
8月16日（火）	理科指導①	研修センター	2日目 9月29日（木）

上川教育研修センター 第19次研究1年次スタート

上川教育研修センター第19次研究の1年次がスタートしました。第18次研究の成果と課題を踏まえ、「求められる資質・能力を育む学習指導の在り方」について、特に指導と評価の一体化に視点を向けて研究を行います。皆様から多くの御意見をいただきながら研究を進めてまいります。

6月には研究員勤務校（旭川市立中央中学校）、9月～10月には研究協力校2校（旭川市立高台小学校、旭川市立広陵中学校）による授業実践を行います。そして、12月のセンター発表会（旭川市立北光小学校）では、研究員による授業実践を通し、第19次研究のまとめとします。各校に御案内させていただきますので、多くの皆様の御参観をよろしくお願ひいたします。

研究 主 題

求められる資質・能力を育む学習指導の在り方

～指導と評価の一体化を目指す学習評価～

求める児童生徒像

「知識・技能」を習得し、「思考力・判断力・表現力等」を高め、「学びに向かう力・人間性等」を涵養し、各教科等の「見方・考え方」を自在に働かせながら深い学びに向かっていく児童生徒。

研究 の 仮 説

身に付けさせるべき児童生徒の資質・能力が明確化された目標を基にした学習指導と、形成的な評価に重点を置いた適切な評価の「指導と評価の一体化」を図ることで、児童生徒の学習や教師による指導の改善等につなげ、組織的かつ計画的に教育活動の質が向上するであろう。

研究 内 容

指導と評価の一体化

(1) 目標と評価の一体化

- ・単元目標の明確化
- ・目標と評価の位置付け

(2) 指導計画・評価計画

- ・単元構成の工夫
- ・形成的な評価（指導に生かす評価）
- ・一単位時間の学習過程
- ・総括的な評価（記録に残す評価）
- ・段階的な振り返りの設定
- ・主体的に学習に取り組む態度と知識・技能、思考・判断・表現の関係性
- ・パフォーマンス課題及び評価

(3) 個別最適な学び、協働的な学び

- ・個別最適な学びと個に応じた指導
- ・個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実
- ・指導と評価の一体化の考え方による立った学習評価の改善
- ・主体的に学習に取り組む態度についての評価との関連

ICT の 活 用

- ・多様で大量の情報の収集、整理・分析、まとめ、表現
- ・児童生徒の思考の過程や結果の可視化
- ・情報の双方向性による瞬時の情報共有等

研究室では、週に1回程度、上川教育研修センターにて研究室会議を行い、上川管内の先生方にお伝えする研究内容を協議しております。



令和4年度「研究協力校の紹介」

旭川市立高台小学校

一 学校概要

高台小学校は、旭川北部、春光台の地に位置し、周囲には豊かな自然が数多く残されていました。キャンプ場やアスレチック施設を備えたグリーンスポーツ公園や市営プールなどがあり、とても恵まれた環境の中にある学校です。

令和4年度は、学級数二十五（特支十を含む）、児童数四百六十八名です。今年度は、チームによる学年・学級経営を大切に「見付ける」「かかわる」「挑戦する」活動を重視し、日々授業改善に取り組んでいます。

二 教育目標

「考える子・仲よくする子・たくましい子」

- 必要な情報を見付け、主体的に学ぶ子
- 知識・技能を活用して自ら考え、互いを尊重し共に高め合う子
- 自他のよさを感じながら、願いの実現へ粘り強く取り組む子

三 年度の重点

「主体的にかかわり、挑戦する高台つ子の育成」
「旭川一気持ちのよいあいさつが響き合う
春光台地区を目指して」



旭川市立広陵中学校

一 学校概要

本校は、末広地区の環状線からバイパスまでの石狩川と春光台に挟まれた住宅地帯に位置しています。令和四年四月現在、学級数は十七（特支五を含む）、全校生徒が三百八十九名、明るく素直な生徒が多い学校です。

二 教育目標

『夢と潤いのある学校』

- 深く考える生徒
- 優しく思いやりのある生徒
- 粘り強くやりぬく生徒
- 明るく健やかな生徒

三 年度の重点

全校生徒、全職員で「知恵と勇気と優しさ」を合い言葉に、「将来の夢や希望、自分の生き方について考える」「読む・聞く→考える→話す・書く」「自他を大切にする」「生徒自らが行動する」教育活動を大切にし、様々な困難に立ち向かうことができる子どもたちの育成を目指しています。



昨年度のセンター研究発表会の様子



上川教育研修センター**教育講演会****とき**

令和5年1月11日（水）14：15～16：15

（開場：13：45 講演開始：14：15）

ところ

Zoom オンライン開催

配信：上川教育研修センター

演題**「資質・能力を育成する
授業づくりと学校評価」****講師**

大妻女子大学家政学部児童学科 教授
前：文部科学省国立教育政策研究所
学力調査官 兼 教育課程調査官

樺山敏郎氏**【講師紹介】**

公立小学校教諭、教頭、教育委員会指導主事を歴任後、2006年4月より9年間、文部科学省国立教育政策研究所学力調査官兼教育課程調査官として小学校国語を担当。2015年4月より現職

主な著書

- ・明治図書 資質・能力を育成する小学校国語科授業づくりと学習評価（編著）
- ・明治図書 深い学び・対話的な学び・主体的な学びの過程を重視した小学校国語科アクティブ・ラーニング型授業スタートブック（編著）
- ・ぎょうせい 小学校教育課程実践講座（編著）

教育界には課題が山積しております。ぜひ「教育講演会」に御参加いただき、お一人お一人が抱える課題の解決に努めていただければと考えております。多数の皆様の御参加をお待ちしております。

Web サイトを御利用ください！
<http://kami-cen.hs.plala.or.jp/>

今年度の講座一覧や要項・申込書、研究紀要等がダウンロードでき、過去の研修講座の様子やセンターだよりを見ることができます。また、センターで所蔵している資料名を閲覧できますので、お探しの資料があれば貸し出すこともできます。さらに、施設の使用や宿泊についても詳細を見るできます。ぜひ、御活用ください。



令和3年度 受講後調査の集計結果 ~御協力ありがとうございました~

当研修センターでは、研修講座の受講後2～3か月を目処に御回答いただく「受講後調査」を実施しました。お忙しい中にもかかわらず御協力をいただきまして、ありがとうございました。令和3年度の結果をまとめましたので、お知らせいたします。

設問1 研修終了後、児童生徒や同僚教職員、他の学校の教職員等に研修成果を発信することができましたか。



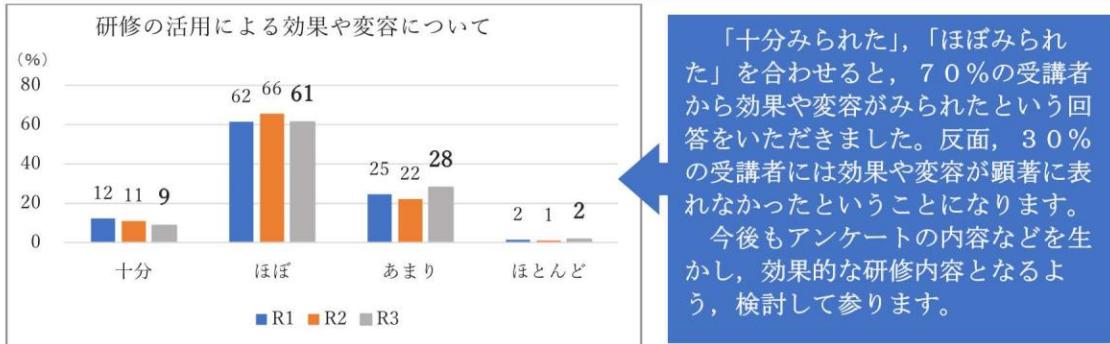
研修の成果について、多くの方に活用していただいております。今後も研修の成果が、受講者はもとより、広く教育現場に生かされるような講座運営を目指し、工夫改善して参ります。

設問2 研修終了後、自校や校外研修会等で、研修内容を活用し、自己の指導内容や方法の工夫改善ができたか。



「十分みられた」、「ほぼみられた」を合わせると、82%の受講者から自己の指導内容や方法の工夫改善ができたという回答をいただきました。今後も更に多くの皆様が実践に生かすことができる講座内容となるよう努めて参ります。

設問3 研修内容を広げたり活用したりした結果、児童生徒や対象の教職員に効果や変容がみられましたか。



「十分みられた」、「ほぼみられた」を合わせると、70%の受講者から効果や変容がみられたという回答をいただきました。反面、30%の受講者には効果や変容が顕著に表れなかったということになります。今後もアンケートの内容などを生かし、効果的な研修内容となるよう、検討して参ります。

講座の成果を推し測り、より多くの受講される皆様の御意見を反映するため、当研修センターのWebサイトやQRコードから簡単にアクセスできるようにしております。
今年度も2～3か月を目処に、当研修センターWebサイト上で、御回答ください。タブレットや携帯端末から簡単に御回答いただけます。御協力をよろしくお願いいたします。

「受講後調査」QRコード



※この調査は、受講後、約2～3か月を目処に入力してください。
※左のQRコードをスマートなどで読み取ると回答できます。

(google フォーム 外部リンク)

各種資料の御活用を！

当研修センターの1階には、各種教育雑誌や各出版社の教科書を、3階には、道内はもちろん全国各地の教育関係広報紙や研究紀要、教育雑誌のバックナンバーなどを保管しています。蔵書資料は貸出しも行っていますので、ぜひ御活用ください。なお、所蔵資料リストは当センターWebサイトからも御覧いただけます。



心に残る授業 その⁸⁵



旭川市教育委員会
教育指導課主査

小山 和歌子

小学校第五学年音楽科「日本の子もり歌や民謡に親しもう」という題材の民謡の鑑賞の授業を紹介します。本題材は、「歌唱や鑑賞の活動を通して日本的孩子も歌や民謡に親しみ、その音楽のよさや特徴を感じ取り、日本の音楽に親しむこと」がねらいです。

鑑賞の授業では、福島県と広島県に伝わる二つの民謡を扱っていました。「一つ目の民謡を聴いた後の、『色々な楽器の音が入っていた』」「『にぎやかな感じがした』」など、楽曲から聴き取ったことや感じ取ったことを次々と伝え合う場面では、楽器の音色やお囃子に着目した児童の言葉を取り上げ、その様子が分かる部分を再度聴かせて、友達の気付きを全員で確認し、共有することを大切にされていました。

二つの民謡は、拍が一定ではない、ゆったりとしたものであり、舟を漕ぐ様子を表した民謡であつたことから、

授業を通して、音や音楽を聞く時間が十分に確保されており、二つの曲の特徴を捉えながら聴き比べることで、各地に伝わる民謡には、歌が生まれた背景によって曲想の違いがあることや、どちらの歌も共通して民謡の特徴的な声の出し方や節回しなどの歌い方があることに気付かせるなど、民謡の音楽を味わって聴くことができるようになります。

また、先生の「○○の音色を探してごらん。」等の問いかけに対し、体を前のめりにして音楽にじっくり耳を傾け「あ、聴こえた。」と喜んだり、ゆつたりとした音楽の流れに合わせて自然と体を揺らしながら聴いたりするなど主張的に音楽に関わっている児童の姿が随所にありました。児童にとって馴染みの少ない民謡の音楽ですが、その特徴やよさを存分に味わうことのできる魅力ある授業として印象に残っています。

歌に合わせてゆつたりと漕ぐ動作を付けてながら聴かせるなどして、歌の表す情景を想像させながら聴かせていました。

「出前講座」を御活用ください！

教科指導をはじめ、生徒指導・特別支援教育・今日的な教育課題・ICTの活用・各種実技指導など、各学校の校内研修や教育研究団体の様々なニーズに合わせて、選りすぐりの講師を派遣しています。ぜひ、御活用ください。

申込は、隨時受付けております。「研修講座開催要項」27ページに掲載しております「出前講座申込書」に必要事項を御記入の上、直接当センターへFAXで送付してください。

講座内容例

教科等指導（国、英 等）	指導計画、評価、言語活動、道徳科指導、校内研修に関わる事項 等
ICTの活用	タブレットPC活用、表計算、オンライン授業・会議 等
各種実技指導	器械運動（体育）、木版画（図工・美術）、毛筆（書写）等
特別支援教育	各種発達障害の理解、個別の支援計画、交流および共同学習 等
生徒指導	いじめ・不登校への対応、構成的グループエンカウンター、教育相談 等
今日的な教育課題	プログラミング教育、学校力向上、幼保小連携、小中連携 等

上川教育研修センター所員紹介

退任

●お世話になりました●

<p>前 所 長 福 家 尚</p> <p>(旭川市立桜岡中)</p>	<p>指 導 員 小林 和博</p> <p>(旭川市立桜岡中)</p>
<p>前 研 究 員 村 越 恵 一</p> <p>(旭川市立新富小)</p>	<p>研 究 員 因幡 明浩</p> <p>(旭川市立新富小)</p>

一般研修講座、出前講座が充実したものになるよう努めてまいります。よろしくお願ひいたします。

仲間の先生方と協力して、時代のニーズに合った研究を上川管内に尽力いたします。

学び続ける教職員の皆様のお役に立てるよう、センターの運営に努めてまいります。どうぞ、よろしくお願いいたします。

前 指 導 員
森 走 平

(旭川市立神楽小学校)

副 所 長
林 欽 一

(旭川市立東陽中)

前 研 究 員
小 林 豊

(旭川市立永山西小学校)

研 究 員
片 山 泉

(旭川市立東陽中)

発行日	令和四年七月一日
発行	上川教育研修センター
電話	(0166)24-12501
旭川市六条通四丁目	
責任者	伊東義晃
印刷所	東信印刷株式会社
※この用紙は再生紙(古紙70%)を使用しています。	



所員
伊東 義晃



事務係
上光さゆり



研究員
(美瑛町立美瑛東小)
石塚 大輔



研究員
(旭川市立北光小)
久保田竜平



研究員
(旭川市立中央中)
近田 泰斗



研究員
(旭川市立北光小)
三上 貴也



指導員
(旭川市立旭川第三小)
上村純一



指導員
(旭川市立青雲小)
平井佐知



研究員
(旭川市立北光小)
加藤慎司



研究員
(旭川市立北星中)
北澤克康



事務部長
北澤克康



研究事業部長
(旭川市立知新小)
北島裕一



事務係
 笹谷青子